

# 別表第4（第8条関係）

## 1 養護に関する科目

必修55単位

教育職員免許法施行規則に定める科目区分 免許状取得に必要な最低単位数		左記に対応する開設授業科目		備考
科目区分	単位数	授業科目	単位数	
衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	4	環境保健論Ⅰ 環境保健論Ⅱ 保健統計 保健医療福祉論	1 1 1 2	5単位を履修
学校保健	2	学校保健	2	
養護概説	2	養護概説	2	
健康相談活動の理論及び方法	2	コミュニケーション論 臨床心理学 小児発達・生活看護論 コミュニティ・公衆衛生看護活動論	2 2 1 2	7単位を履修
栄養学（食品学を含む。）	2	代謝機能学Ⅰ 代謝機能学Ⅱ	2 2	4単位を履修
解剖学及び生理学	2	形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 生体機能学演習	2 2 1	5単位を履修
微生物学、免疫学、薬理概論	2	感染免疫学 薬理学 臨床薬理学	2 1 2	5単位を履修
精神保健	2	精神健康看護論 精神障害論	1 1	2単位を履修
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	看護学概論 生活援助論 生活援助論演習Ⅰ 生活援助論演習Ⅱ 看護病態学 感染・病態学演習 クリニカル看護実習 疾病論（小児科学） 小児健康看護論 女性健康看護論 在宅看護論 在宅援助技術論 コミュニティ・公衆衛生看護概論 生涯広域看護実習（地域） 生涯広域看護実習（小児） 家族看護論	2 2 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 2 2 2 1	23単位を履修

### 履修上の注意

養護教諭一種免許状取得には、上記養護に関する36科目・55単位の履修が必要である。ただし、学校保健、養護概説、コミュニケーション論、臨床心理学の4科目以外は、全て卒業要件として必修の専門科目である。

また、「看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）」の科目区分における23単位には、教育職員免許法施行規則に定める「養護又は教職に関する科目」として必要な7単位が含まれている。

## 2 教職に関する科目

必修27単位

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	
科目	各科目に含める必要事項	最低取得 単位数	授 業 科 目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	1
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育論	2
			総合的な学習の指導法	1
			特別活動論	1
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法・技術論	2
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育カウンセリング	2
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習	5
	教職実践演習	2	教職実践演習	2

### 履修上の注意

養護教諭一種免許状取得には、上記教職に関する科目14科目27単位全ての修得が必要である。なお、「教育の基礎的理解に関する科目」の最低取得単位数は8単位、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の最低取得単位数は6単位であるものの、教育職員免許法施行規則に定める「各科目に含めることが必要な事項」を満たすためには、全ての開設授業科目の単位修得が必要となる。

### 3 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

必修10単位

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	2
体育	2	健康・スポーツ科学演習1	1
		健康・スポーツ科学演習2	1
外国語コミュニケーション	2	Reading and Discussion1	1
		Reading and Discussion2	1
		Listening and Speaking1	1
		Listening and Speaking2	1
		Writing1	1
		Writing2	1
情報機器の操作	2	情報処理演習1	1
		情報処理演習2	1
		情報科学論	2

#### 履修上の注意

養護教諭一種免許状取得には、上記教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目にかかわって、10単位の履修が必要である。

ただし、これらの授業科目のうち、情報処理演習1、情報処理演習2、情報科学論は卒業要件として必修の科目である。